

学修概要

歯内療法の概要，すなわち齶蝕およびその継発症である歯髄炎や根尖性歯周炎の症状と治療法を理解し，その使用器具，材料および薬剤などに関する知識を身につける。また，それに関連した診療補助ならびに患者の持つ苦痛と訴えに対する対処法について学ぶ。

- 教科書：最新歯科衛生士教本
歯の硬組織・歯髄疾患 保存修復・歯内療法（医歯薬出版）
- 参考書：エンドドンティックス 第4版
- 授業時間：火曜日 9：00～9：50
- オフィスアワー：勝呂 尚 火曜日 17：00～18：00 (suguro.hisashi@nihon-u.ac.jp)
- 授業の方法：スライドを使用し，適宜プリントを配布する。
- 準備学習・ 事前に必ず教科書を読み，授業内容を理解しておくこと。
準備学習時間：各々授業時間相当を充てて予習と復習を行うこと。
- 成績評価方法：定期試験（100％）を基本とし，授業態度や出席を参考資料とする。
- 注意事項：講義に必ず教科書を持参すること。
- 実務経験：勝呂 尚：現在，日本大学歯学部歯科保存学第Ⅱ講座に在籍しており，歯科治療の経験を基に歯科医師の立場から歯内療法学について，本教科で学ぶ内容の理論がいかに実際に活かされるかについて学ぶ場を提供したいと考えている。

授業日・担当者	講義項目	学修目的・到達目標
第1回 5月21日 勝呂 尚	1. 外科的歯内療法 (教) pp. 172-180	・根管治療のみでは治癒しない症例に適応となる外科的歯内療法について学ぶ。
第2回 5月28日 勝呂 尚	2. 歯の外傷 (教) pp. 181-184	・歯の外傷における分類，処置および対処法について学ぶ。
第3回 6月4日 勝呂 尚	3. 歯内療法における安全対策 (教) pp. 185-189	・歯内療法的領域で起こりうる医療事故に対する予防および対処法について学ぶ。
第4回 6月11日 勝呂 尚	4. 歯内療法における歯科衛生士の役割 (教) pp. 190-216	・歯内療法領域において必要とされる歯科衛生士の役割および業務を学ぶ。
第5回 6月18日 勝呂 尚	5. 器具・器材の管理 (教) pp. 190-216 歯のホワイトニング (教) pp. 217-221	・歯内療法に使用する多種多様な器具・器材の管理法について理解する。また，歯の各種漂白法について学ぶ。